

平成 2 5 年度

主要・新規事業等の概要



高 浜 市

目 次

一 般 会 計

2 款 総務費

- N o . 1 中期基本計画策定等支援業務委託（新規） 3
- N o . 2 公共施設あり方検討事業（継続）
（公共施設保全計画策定支援業務委託） 5
- N o . 3 防災備品等の購入（継続） 7
- N o . 4 地域防災計画基礎調査業務委託（新規） 9

3 款 民生費

- N o . 5 生涯現役のまちづくり創出事業（継続） 11
- N o . 6 認知症早期発見事業（新規） 13
- N o . 7 中央保育園運営委託（新規） 14
- N o . 8 ガラス飛散防止工事（新規）
（保育園・幼稚園・児童センター・みどり学園・いちごプラザ） 15
- N o . 9 家庭的保育推進事業（継続）
（家庭的保育事業運営委託 1 か所新規追加） 17

7 款 商工費

- N o . 10 コミュニティ・ビジネス創出支援事業（継続） 19

8 款 土木費

- N o . 11 通学路安全対策工事（新規） 21
- N o . 12 市道港線の整備（継続） 23
- N o . 13 樋門取替工事（新規） 25
- N o . 14 高浜ベイサイド計画（高浜貯木場跡地）調査委託（新規）
. 27

10 款 教育費

- N o . 15 中高校生の居場所事業費補助（継続） 29

第6次高浜市総合計画における体系別 主要・新規事業一覧

I みんなで考え みんなで汗かき みんなのまちを創ろう

No. 1	中期基本計画策定等支援業務委託	3
No. 2	公共施設あり方検討事業	5

II 学び合い 力を合わせて 豊かな未来を育もう

No. 7	中央保育園運営委託	14
No. 8	ガラス飛散防止工事	15
No. 9	家庭的保育事業運営委託 1か所新規追加	17
No. 15	中高校生の居場所事業費補助	29

III 明日を生み出すエネルギー やる気を活かせるまちをつくろう

No. 3	防災備品等の購入	7
No. 4	地域防災計画基礎調査業務委託	9
No. 10	コミュニティ・ビジネス創出支援事業	19
No. 11	通学路安全対策工事	21
No. 12	市道港線の整備	23
No. 13	樋門取替工事	25
No. 14	高浜ベイサイド計画（高浜貯木場跡地）調査委託	27

IV いつも笑顔で健やかに つながり100倍ひろげよう

No. 5	生涯現役のまちづくり創出事業	11
No. 6	認知症早期発見事業	13



第6次高浜市総合計画 将来都市像

思いやり 支え合い 手と手をつなぐ 大家族たかはま

～高浜市が目指す姿のキャッチフレーズ～

主要・新規事業等

<p>事業名等 中期基本計画策定等支援業務委託【新規】</p>																																																
<p>担当グループ 企画部 地域政策グループ</p>																																																
<p>総合計画区分 基本目標 I みんなで考え みんなで汗かき みんなのまちを創ろう 個別目標 (1) 市民とともに歩む経営を行います</p>																																																
<p>予算区分 会計 一般会計 款 02 総務費 項 01 総務管理費 目 12 企画費 事業名 02 総合計画進行管理事業</p>																																																
<p>アクションプラン <input checked="" type="checkbox"/> 該当する <input type="checkbox"/> 該当しない</p>																																																
事業概要	<p>事業の必要性・実施の背景 平成25年度は、第6次高浜市総合計画「前期基本計画」の最終年度であることから、社会状況や高浜市の現状、新たな課題等を踏まえ、基本構想の実現に向け、平成26年度から29年度までの市政運営の方向性を示した「中期基本計画」を策定する必要がある。</p>																																															
	<p>目的 (何をどうするために) 将来都市像「思いやり 支え合い 手と手をつなぐ 大家族たかはま」の実現に向け、時代の変化や新たな課題等に対応した「中期基本計画」を策定するため。</p>																																															
	<p>対象 (誰・何を対象に) 市民</p>																																															
	<p>事業内容 (手段、手法など) 中期基本計画の策定にあたっては、総合計画審議会において市民目線で素案を審議していただくが、専門性を要する部分については、必要最小限の委託を行うことにより、短期間で効率的・効果的な素案づくりを進める。 【委託業務内容】 ・市民意識調査・小中学生アンケートの実施 ・市民意識調査の分析・とりまとめ、指標設定に向けての分析・事例調査 など</p>																																															
<p>目指す成果 (事業実施により期待される効果) 「中期基本計画」を策定することにより、今後の高浜市が目指すべき姿や、目指すべき姿の実現のために取り組むべき方策・手段を明確化することができ、持続可能な活力ある地域社会の構築、満足感・納得感の高い市政運営を行うことができる。</p>																																																
<table border="1"> <tr> <td rowspan="2">平成25年度</td> <td colspan="2">事業費(経費)</td> <td colspan="10">財源内訳(単位:千円)</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>国庫支出金</td> <td>県支出金</td> <td>地方債</td> <td>その他</td> <td colspan="5">一般財源</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>4,179 千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td colspan="5">4,179</td> </tr> </table>													平成25年度	事業費(経費)		財源内訳(単位:千円)												国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源							4,179 千円					4,179				
平成25年度	事業費(経費)		財源内訳(単位:千円)																																													
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源																																									
		4,179 千円					4,179																																									
<p>事業費積算内容 ● 中期基本計画策定等支援業務委託料 4,179千円</p>																																																
<table border="1"> <tr> <td rowspan="2">平成25年度</td> <td>4月</td><td>5月</td><td>6月</td><td>7月</td><td>8月</td><td>9月</td><td>10月</td><td>11月</td><td>12月</td><td>1月</td><td>2月</td><td>3月</td> </tr> <tr> <td colspan="3">第1四半期</td> <td colspan="3">第2四半期</td> <td colspan="3">第3四半期</td> <td colspan="3">第4四半期</td> </tr> </table>													平成25年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	第1四半期			第2四半期			第3四半期			第4四半期													
平成25年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月																																				
	第1四半期			第2四半期			第3四半期			第4四半期																																						
<p>事業実施スケジュール</p>																																																
<p>予算書該当ページ 105 ページ</p>																																																

主要・新規事業等

事業名等													公共施設あり方検討事業【継続】 (公共施設保全計画策定支援業務委託)																																			
担当グループ													企画部 経営戦略グループ																																			
総合計画区分													基本目標 I みんなで考え みんなで汗かき みんなのまちを創ろう						個別目標 (2)次世代のために、健全な財政運営を行います																													
予算区分													会計 一般会計			款 02 総務費			項 01 総務管理費			目 12 企画費																										
アクションプラン													■該当する □該当しない																																			
事業概要	事業の必要性・実施の背景													公共施設の多くは建築後約30年以上が経過し、老朽化の程度から維持・保全をする上で、今後、大規模な改修・修繕が必要となる。昨今の厳しい財政状況から建替・廃止・機能移転等の策定が急務であり、施設の利用状況・運営コスト・今後の財政状況を踏まえ、今後の公共施設のあり方を示す「公共施設あり方計画」を策定する必要がある。																																		
	目的 (何をどうするために)													限られた財源・資産をより有効に活用するため、地域ごとの人口構成など、地域の特性を踏まえた上で、既存の公共施設の機能更新等に係る将来的な財政負担の平準化を図ることにより、将来負担比率を念頭においた長期的な視点に立った財政計画に基づいた財政運営を行い、持続可能な自立した基礎自治体を目指す。																																		
	対象 (誰・何を対象に)													市民																																		
	事業内容 (手段、手法など)													平成23年度に市内の公共施設の現状や課題等について、「高浜市公共施設マネジメント白書」としてとりまとめを行うとともに、平成24年度では、公共施設マネジメント白書から明らかになってきた本市の課題を踏まえ、学識経験者等の専門家と市民を交えた公共施設あり方検討委員会において、今後40年間の公共施設のあり方の方向性を示す公共施設マネジメント基本方針、公共施設改善計画(案)のとりまとめを行った。 これに基づき、公共施設の具体的な維持管理や効率的かつ効果的な保全を行うため、建物の実態把握と劣化状況の調査、また、財政シミュレーションによる今後の投資的経費の予測を行い、その財政制約に基づく施設の優先順位や保全スケジュールなどの取りまとめを行う。																																		
目指す成果 (事業実施により期待される効果)													公共施設を通じて提供される行政サービスが時代の変化に応じた形となり、また、施設の維持・保全等に要する費用が平準化される方向性が明らかになるため、長期的な視点に立った本市の行財政運営が図れる。																																			
平成25年度													事業費(経費)			財源内訳(単位:千円)																																
													国庫支出金			県支出金			地方債			その他			一般財源																							
12,250 千円																						12,250																										
事業費積算内容													●公共施設保全計画策定支援業務委託料 12,000千円 ●消耗品費等 250千円																																			
平成25年度													4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月		
													第1四半期						第2四半期						第3四半期						第4四半期																	
事業実施スケジュール													支援業務発注 →																																			
													公共施設保全計画策定(職員プロジェクト会議等) →																																			
予算書該当ページ													107 ページ																																			

これまでの主な取組と成果

事業年度	平成 23 年度 ～					
平成24年度 (当初予算)	取組内容	公共施設マネジメント基本方針及び公共施設改善計画を策定した。 策定にあたり学識経験者等の専門家と市民を交えた「高浜市公共施設あり方検討委員会」を設置し、公共施設マネジメント基本方針、改善計画(案)について議論した。また、その作業部会として位置づけた職員による公共施設あり方計画検討プロジェクトチームを発足し、公共施設の現状分析や機能の複合化等公共施設の総量圧縮について検討を行った。				
	事業費(経費)	財源内訳(単位:千円)				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	7,169 千円		3,333			3,836
主な経費	<ul style="list-style-type: none"> ●公共施設あり方計画作成支援業務委託料 6,825千円 ●公共施設あり方検討委員会謝礼 209千円 ●消耗品費等 135千円 					
平成23年度 (決算)	取組内容 と成果	高浜市公共施設マネジメント白書を作成した。 策定にあたり「職員プロジェクトチーム」を発足し、このプロジェクトチームで公共施設の現状把握、課題の抽出・分析を行い取りまとめた。				
	事業費(経費)	財源内訳(単位:千円)				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	8,334 千円		2,850			5,484
主な経費	<ul style="list-style-type: none"> ●公共施設マネジメント白書作成支援業務委託 5,702千円 ●公共施設あり方検討方針作成支援業務委託 2,268千円 ●消耗品費等 364千円 					

資料等(位置図等)

高浜市公共施設あり方計画

(1) 公共施設マネジメント基本方針【平成24年度策定】
 将来に向けた公共施設の改善策等を取りまとめた全体方針、用途や地域の区分に応じた方向性等を定めたもの

(2) 公共施設改善計画【平成24年度に案とりまとめ、平成25年度策定】
 公共施設マネジメント基本方針に基づき、公共施設の総量圧縮、機能移転等を踏まえた複数の改善案を取りまとめたもの

(3) 公共施設保全計画【平成25年度策定】
 公共施設改善計画に基づき、対応年数の長寿命化、コストの平準化を考慮した保全スケジュールなどのアクションプラン(実施計画)を取りまとめたもの

主要・新規事業等

事業名等													防災備品等の整備【継続】																																																																																																							
担当グループ													都市政策部 都市防災グループ																																																																																																							
総合計画区分													基本目標 III 明日を生み出すエネルギー やる気を活かせるまちを創ろう						個別目標 (12) 安心・安全が実感できる基盤づくりを進めま																																																																																																	
予算区分													会計 一般会計			款 02 総務費			項 01 総務管理費			目 18 防災対策費																																																																																														
アクションプラン													■該当する □該当しない																																																																																																							
事業概要	事業の必要性・実施の背景													東日本大震災後、地域住民の防災に対する関心が高まり、被災者の捜索・救助及び避難所の資機材整備等の要望が出ており、対応が必要となる。																																																																																																						
	目的 (何をどうするために)													市の防災備蓄計画に基づき、計画的に非常食の備蓄や避難所資機材の整備を図るため。																																																																																																						
	対象 (誰・何を対象に)													市民・企業・行政																																																																																																						
	事業内容 (手段、手法など)													市の防災資機材等整備計画に基づき、非常食の備蓄や避難所資機材の購入するとともに、自主防災組織へ災害時に必要な資機材を配布し、防災力の向上を図る。																																																																																																						
目指す成果 (事業実施により期待される効果)													避難者の避難所生活に必要な資機材が整備され、市民の安心と安全の確保につながる。																																																																																																							
平成25年度													事業費(経費)						財源内訳(単位:千円)																																																																																																	
													国庫支出金			県支出金			地方債			その他			一般財源																																																																																											
													43,745 千円						4,920						38,825																																																																																											
事業費積算内容													<ul style="list-style-type: none"> ●食糧費 2,581千円 (アルファ米、保存水 など) ●消耗品費 26,890千円 (防災行政ラジオ、間仕切りパーテーション、小型無線機 など) ●庁用器具費 14,274千円 (レスキューセット、仮設トイレ、浄水装置、リアカー など) 																																																																																																							
平成25年度													4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月																																																																						
													第1四半期						第2四半期						第3四半期						第4四半期																																																																																					
事業実施スケジュール													<table border="1"> <tr> <td colspan="13"></td> <td colspan="13">(食料購入)</td> <td colspan="13">→</td> </tr> <tr> <td colspan="13"></td> <td colspan="13"></td> <td colspan="13">(消耗品・庁用器具購入)</td> <td colspan="13">→</td> </tr> </table>																										(食料購入)													→																																							(消耗品・庁用器具購入)													→												
													(食料購入)													→																																																																																										
																										(消耗品・庁用器具購入)													→																																																																													
予算書該当ページ													111 ページ																																																																																																							

これまでの主な取組と成果

事業年度					
平成24年度 (当初予算)	取組内容	災害時の備えとして備蓄食料(アルファ米、水)の購入や避難所生活に必要な間仕切りパーテーションなどを購入している。また、本年度、防災資機材等整備計画を策定して計画的に整備を進め、防災力の向上を図る。			
	事業費(経費)	財源内訳(単位:千円)			
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他
	4,427 千円			714	
主な経費	<ul style="list-style-type: none"> ●食糧費 1,913千円 (アルファ米、保存水 など) ●消耗品費 2,514千円 (間仕切りパーテーション) 				
平成23年度 (決算)	取組内容 と成果	災害時の備えとして備蓄食料(アルファ米、水)の購入や災害用マンホールトイレなどを購入し防災資機材の整備を図った。			
	事業費(経費)	財源内訳(単位:千円)			
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他
	5,016 千円			516	
主な経費	<ul style="list-style-type: none"> ●食糧費 1,986千円 (アルファ米、保存水 など) ●庁用器具費 516千円 (災害用マンホールトイレ) ●消耗品費 2,514千円 (凝固・衛生袋セット、おむつ) 				

資料等(位置図等)

自主防災組織への配布資機材



レスキューセット



リヤカー



小型無線機

備蓄資機材



非常食(アルファ米)



仮設トイレ



間仕切りパーテーション

主要・新規事業等

事業名等													地域防災計画基礎調査業務委託【新規】																							
担当グループ													都市政策部 都市防災グループ																							
総合計画区分													基本目標 III 明日を生み出すエネルギー やる気 を活かせるまちを創ろう						個別目標			(12) 安心・安全が実感できる基盤づくりを進めま す														
予算区分													会計 一般会計		款 02 総務費		項 01 総務管理費		目 18 防災対策費		事業名 01 防災活動事業															
アクションプラン													<input checked="" type="checkbox"/> 該当する <input type="checkbox"/> 該当しない																							
事業概要	事業の必要性・実施の背景													中央防災会議において、「南海トラフ巨大地震」の被害想定及び被害予測調査が実施されており、新たな被害想定及び「愛知県地域防災計画」の見直しに合わせて、本市の「地域防災計画」も見直しが必要となる。																						
	目的 (何をどうするために)													避難場所及び避難所をはじめ本市の防災対策について、新たな被害想定に基づき「地域防災計画」の見直しを行うため。																						
	対象 (誰・何を対象に)													市民、民間事業者																						
	事業内容 (手段、手法など)													現在、国及び愛知県が実施している「南海トラフの巨大地震」の被害想定予測を参考に進めている、「愛知県地域防災計画」の見直しに伴い、本市の避難所等の状況や液状化などについて、「地域防災計画」の基礎調査及び地域防災計画の項目の見直しを行う。																						
目指す成果 (事業実施により期待される効果)													中央防災会議の被害想定及び「愛知県地域防災計画」の見直しなど、新たな被害想定及び被害予測に基づいた防災計画が策定できる。																							
平成25年度													事業費(経費)			財源内訳(単位:千円)																				
													国庫支出金			県支出金			地方債			その他			一般財源											
8,304 千円																						8,304														
事業費積算内容													●高浜市地域防災計画基礎調査業務委託料 8,304千円																							
平成25年度													4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月	
													第1四半期				第2四半期				第3四半期				第4四半期											
事業実施スケジュール													調査項目整理 → ★入札 ★契約 調査委託 →																							
予算書該当ページ													111 ページ																							

主要・新規事業等

生涯現役のまちづくり創出事業【継続】												
事業名等		生涯現役のまちづくり創出事業【継続】										
担当グループ		福祉部 福祉企画グループ										
総合計画区分		基本目標 IV いつも笑顔で健やかにつながり100倍ひろげよう					個別目標 (14)一人ひとりの元気と健康づくりを応援します					
予算区分		会計 一般会計		款 03 民生費		項 01 社会福祉費		目 08 高齢者社会参加推進費				
事業名		05 生涯現役のまちづくり創出事業										
アクションプラン		<input checked="" type="checkbox"/> 該当する <input type="checkbox"/> 該当しない										
事業概要	事業の必要性・実施の背景	<p>高齢化の進展に伴い、軽度な介護保険利用者が増加し、介護度の改善も進んでいない。また、定年退職後における「人生の主役として現役で生きていこう」とする生きがい(意欲)が低下している。この他にも、要介護状態が改善されて家に戻ってきた人が地域に居場所を見つけられず、自宅に閉じこもってしまうなど、様々な課題を抱えるようになってきたことから、対策を講ずる必要がある。</p>										
	目的(何をどうするために)	<p>高齢者の皆さんが生きがいを失わず、人生を謳歌しながら、その人らしくいきいきと生きられる「生涯現役のまちづくり」の創出を目指すため。</p>										
	対象(誰・何を対象に)	<p>市内在住の65歳以上の高齢者</p>										
	事業内容(手段、手法など)	<p>昨年度から調査研究をスタートさせたモデル地区(高浜南部地区及び吉浜地区)を中心に、高齢者の皆さんが介護予防や健康増進に励むことができる場所、施設(健康自生地)を数多く用意する。また、自宅や空き店舗などを活用して、高齢者の皆さんが自由に集い、交流することができる「居場所づくり」を支援する。そして、これらの情報を発信することにより、高齢者の皆さんが街中を活発に動きまわりながら、健康を享受することができる「生涯現役のまちづくり」の事業をスタートさせる。加えて、事業に参加するだけでなく、担い手側で活躍していただける方を発掘し、新たな生きがいづくりにつなげる。</p>										
目指す成果(事業実施により期待される効果)		<p>尊厳のある暮らしの実現及び生きがいの創出に欠かせない「1日の生活を自己選択・自己決定する」ためのメニューが提供されることにより、高齢者の閉じこもり防止、介護予防、健康増進、生きがいづくり、居場所づくり、仲間づくりにつながる。</p>										
平成25年度	事業費(経費)	財源内訳(単位:千円)										
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源						
		4,232			10	4,222						
事業費積算内容		<ul style="list-style-type: none"> ●臨時職員賃金 2,002千円 ●健康自生地調査研究委員謝礼 173千円 ●生涯現役のまちづくり講師謝礼 364千円 ●高齢者の居場所づくり活動費補助金 1,000千円 ●消耗品費等 693千円 										
平成25年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	第1四半期			第2四半期			第3四半期			第4四半期		
事業実施スケジュール	「生涯現役のまちづくり」の創出に向けた健康自生地づくり、課題の解決											
							高齢者の居場所づくり活動に対する支援の実施					
							情報紙の発行 ● 情報紙や新聞を使った事業の紹介、PR					
	地元商店、企業、農家などと						ホームページのテスト稼働					
							生涯現役のまちづくりホームページの本格稼働					
						モデル地区(高浜南部地区、吉浜地区)における事業の実施						
						新しい居場所の創出に向けた調整						
						新たなモデル地区における調査研究の実施						
予算書該当ページ		139 ページ										

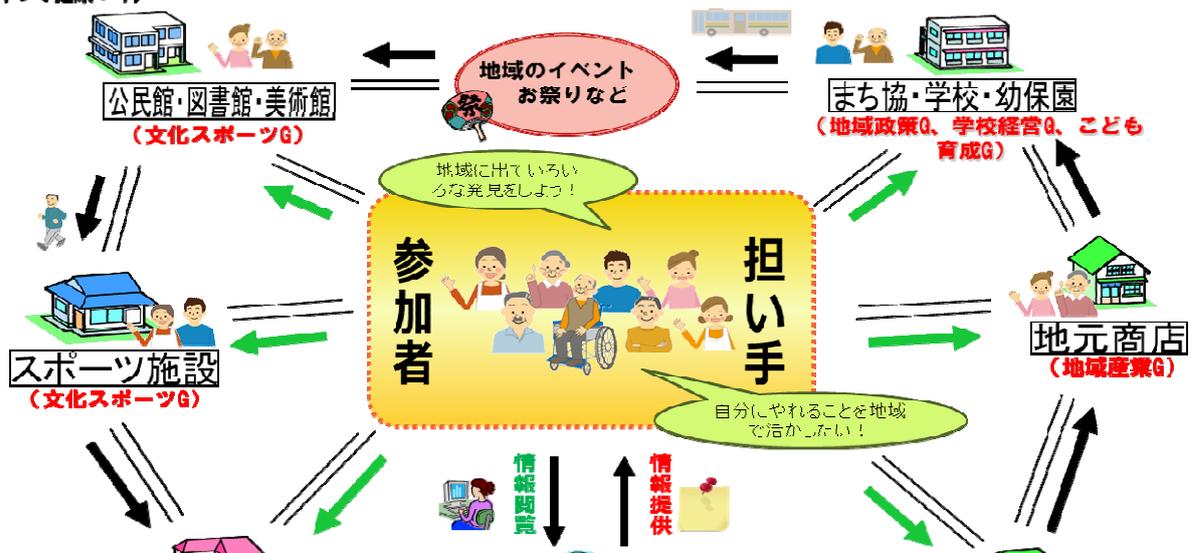
これまでの主な取組と成果

事業年度	平成 23 年度 ～					
平成24年度 (当初予算)	取組内容	様々な社会資源における既存サービスの洗い出し、高齢者のニーズ調査、健康自生地を結ぶ仕組みづくりなどを調査研究する。また、市内の一部の地域においては、具体的な実験、実証に入る。				
	事業費(経費)	財源内訳(単位:千円)				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	3,577 千円	0	3,500	0	12	65
主な経費	<ul style="list-style-type: none"> ●健康自生地調査研究講師謝礼 314千円 ●健康自生地調査研究委員謝礼 301千円 ●健康自生地協力店謝礼 150千円 ●臨時職員賃金等 2,812千円 					
平成23年度 (決算)	取組内容 と成果	生涯現役のまちづくり調査研究委員会を立ち上げ、夢のみずうみ村の現地調査、社会資源を活用した介護予防・健康増進プログラムの考案等を実施した。夢のみずうみ村で学んだことを、高浜市のまちづくりに活かせるよう、独自のアレンジを加えて事業化を目指した。				
	事業費(経費)	財源内訳(単位:千円)				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	3,512 千円	0	3,500	0	0	12
主な経費	<ul style="list-style-type: none"> ●生涯現役のまちづくり調査研究講師謝礼 318千円 ●生涯現役のまちづくり調査研究委員謝礼 388千円 ●臨時職員賃金等 2,806千円 					

資料等(位置図等)

生涯現役のまちづくりが目指す姿

〈高浜市内の社会資源連携〉
各所をめぐって健康づくり



主要・新規事業等

事業名等		認知症早期発見事業【新規】										
担当グループ		福祉部 福祉企画グループ										
総合計画区分		基本目標 IV いつも笑顔で健やかにつながり100倍ひろげよう					個別目標 (14)一人ひとりの元気と健康づくりを応援します					
予算区分		会計 一般会計		款 03 民生費			項 01 社会福祉費		目 11 認知症対策費			
		事業名 01 認知症早期発見事業										
アクションプラン		<input type="checkbox"/> 該当する <input checked="" type="checkbox"/> 該当しない										
事業概要	事業の必要性・実施の背景	<p>国(厚生労働省)は、平成24年9月に示した「認知症施策推進5か年計画(オレンジプラン)」に基づき、認知症の早期診断・早期発見を重点施策として推進している。高浜市においても、今後認知症(特に重度)患者の増加が見込まれることから、従来からの予防、啓発事業に加え、認知症の早期発見事業に着手する必要がある。</p> <p>また、75歳から認知症に陥るリスクが急速に高くなるというデータがある中、団塊の世代が後期高齢者に達するまでに仕組みを完成させなければならない。</p>										
	目的 (何をどうするために)	<p>認知症を早い段階で把握し、専門支援チームによる在宅での具体的なケアの提供、家族に対するアドバイスなどを行うことにより、「認知症になっても本人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域で暮らし続けることができるまちづくり」を実現するため。</p>										
	対象 (誰・何を対象に)	<p>市内在住の65歳以上かつ介護認定を受けていない人</p>										
	事業内容 (手段、手法など)	<ul style="list-style-type: none"> 認知症の早期発見を目的としたスクリーニングを実施する。 医師、保健師、作業療法士といった専門家で組織された「認知症初期集中支援チーム」を設置する。 スクリーニングの結果、本人や家族に対する初期のアセスメントが必要な場合は家庭訪問を実施し、情報収集や家族に対するアドバイスなどを行う。 医師、地域包括支援センター職員などで構成する「チーム員会議」を開催し、ケア方針の決定や医療機関への紹介の有無などについて検討する。 一定期間、集中的に本人と家族に関わった後は、ケアマネージャー、介護サービス事業者、かかりつけ医などへの引き継ぎを行う。 										
目指す成果 (事業実施により期待される効果)	<ul style="list-style-type: none"> 認知症の進行を遅らせたり、重度化を抑制することができる。 本人を含め、家族や周りの人が認知症を正しく理解し、向き合うようになる。 											
平成25年度	事業費(経費)		財源内訳(単位:千円)									
	4,261 千円		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源					
							5	4,256				
事業費積算内容	<ul style="list-style-type: none"> ●臨時職員賃金 1,018千円 ●作業療法士謝礼 1,170千円 ●認知症早期発見業務委託料 1,520千円 ●消耗品費等 553千円 											
平成25年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	第1四半期			第2四半期			第3四半期			第4四半期		
事業実施スケジュール	専門医、高浜市医師会との連携構築 スクリーニング方法の協議及び決定											
					スクリーニング開始							
					認知症初期集中支援チームによる 初期のアセスメントの開始(家庭訪問)							
					「チーム員会議」を開催し、 個々のケア方針を決定							
				認知症に関する相談窓口対応								
予算書該当ページ		141 ページ										

主要・新規事業等

主要・新規事業等													
事業名等	中央保育園運営委託【新規】												
担当グループ	こども未来部 こども育成グループ												
総合計画区分	基本目標	Ⅱ 学び合い力を合わせて豊かな未来を育もう						個別目標	(6)人のつながりやぬくもりの中で、子育て・子育てを支えます				
予算区分	会計	一般会計		款	03 民生費		項	02 児童福祉費		目	02 保育サービス費		
	事業名 02 保育園管理運営事業												
アクションプラン	<input checked="" type="checkbox"/> 該当する <input type="checkbox"/> 該当しない												
事業概要	事業の必要性・実施の背景	近年の核家族化や地域の関わりの希薄化に加え、不透明な社会情勢の中、女性の社会進出の増加により保育のニーズが高まっていることから、対策を講じる必要がある。											
	目的 (何をどうするために)	多様化する保育ニーズに対し、効率的に有効な対応をすることが求められるため、民間保育所の特色を活かし、柔軟で迅速性のある対応が図れるようにするため。											
	対象 (誰・何を対象に)	保育が必要な就学前の児童及び保護者											
	事業内容 (手段、手法など)	中央保育園を平成25年4月1日より社会福祉法人高浜市社会福祉協議会に移管する。											
目指す成果 (事業実施により期待される効果)	民間保育所の特性を活かした多様な保育サービスが提供され、保育に対する満足度が向上する。												
平成25年度	事業費(経費)			財源内訳(単位:千円)									
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源					
136,468 千円			19,792	13,686		35,415	67,575						
事業費積算内容	<ul style="list-style-type: none"> ●民間保育所運営委託料(中央保育園分) 106,902千円 ●民間保育所運営費補助金(中央保育園分) 29,566千円 												
平成25年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
	第1四半期			第2四半期			第3四半期			第4四半期			
事業実施スケジュール	中央保育園民営化											→	
予算書該当ページ	149 ページ												

主要・新規事業等

事業名等													ガラス飛散防止工事【新規】 (保育園・幼稚園・児童センター・みどり学園・いちごプラザ)																																			
担当グループ													こども未来部 こども育成グループ																																			
総合計画区分													基本目標 II 学び合い 力を合わせて 豊かな未来を育もう						個別目標 (6)人のつながりやぬくもりの中で、子育て・子育てを支えます																													
予算区分													会計 一般会計			款 03 民生費			項 02 児童福祉費			目 02 保育サービス費																										
																10 教育費			04 幼稚園費			03 家庭支援費																										
事業名													02 保育園管理運営事業				07 みどり学園運営事業				09 児童センター事業																											
													15 子育て・家族支援ネットワーク事業				02 幼稚園維持管理事業																															
アクションプラン													<input type="checkbox"/> 該当する <input checked="" type="checkbox"/> 該当しない																																			
事業概要	事業の必要性・実施の背景													近年発生した大規模な地震でガラスの飛散による被害が発生しています。子ども関連施設では利用者である子どもに対する安全性を確保することは非常に重要である。																																		
	目的 (何をどうするために)													大地震発生時の窓ガラスの飛散防止を図り、子どもたちの安全を確保するため。																																		
	対象 (誰・何を対象に)													保育園、幼稚園、児童センター、みどり学園、いちごプラザの利用者																																		
	事業内容 (手段、手法など)													保育園(高取保育園・吉浜北部保育園)、幼稚園(高浜幼稚園・吉浜幼稚園・高取幼稚園・高浜南部幼稚園)、児童センター(東海児童センター・翼児童センター)、みどり学園、いちごプラザにおいて、子どもたちが利用する部屋のガラスに飛散防止フィルムを貼る。																																		
目指す成果 (事業実施により期待される効果)													大地震発生の際にもガラスの飛散がなくなり、子どもたちが怪我をするリスクが軽減される。																																			
平成25年度													事業費(経費)						財源内訳(単位:千円)																													
													9,840 千円						国庫支出金		県支出金		地方債		その他		一般財源																					
事業費積算内容													<ul style="list-style-type: none"> ●保育園(高取保育園・吉浜北部保育園) 2,480千円 ●幼稚園(高浜幼稚園・吉浜幼稚園・高取幼稚園・高浜南部幼稚園) 6,440千円 ●児童センター(東海児童センター・翼児童センター) 714千円 ●みどり学園 58千円 ●いちごプラザ 148千円 																																			
平成25年度													4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月		
													第1四半期						第2四半期						第3四半期						第4四半期																	
事業実施スケジュール													★入札 ★契約 工事 →																																			
予算書該当ページ													151・153・155・157・217ページ																																			

主要・新規事業等

事業名等													家庭的保育推進事業【継続】 (家庭的保育事業運営委託 1か所新規追加)																																			
担当グループ													こども未来部 こども育成グループ																																			
総合計画区分													基本目標 II 学び合い力を合わせて豊かな未来を育もう						個別目標 (6)人のつながりやぬくもりの中で、子育て・子育てを支えます																													
予算区分													会計 一般会計			款 03 民生費			項 02 児童福祉費			目 03 家庭支援費																										
アクションプラン													■該当する □該当しない																																			
事業概要	事業の必要性・実施の背景													高浜市では3歳未満児で待機児童が発生している状態であり、その解消に向けた対策を図る必要がある。																																		
	目的 (何をどうするために)													現在実施している家庭的保育4ヶ所に加え、新たな家庭的保育を1箇所拡充し、小集団での家庭的な雰囲気での預かりを重視した保育サービスの拡充と併せ、待機児童対策を図るため。																																		
	対象 (誰・何を対象に)													0歳(6ヶ月以降)～3歳未満の乳幼児及び保護者																																		
	事業内容 (手段、手法など)													市内認可保育園を運営する法人への委託事業により保育所実施型家庭的保育を開設する。場所は公共施設である市営湯山住宅集会所を利用する。																																		
目指す成果 (事業実施により期待される効果)													待機児童対策としての役割を果たすとともに保育所運営のノウハウを持つ法人が実施することで保育や運営に対するきめ細やかなバックアップが期待できる。																																			
平成25年度													事業費(経費)			財源内訳(単位:千円)																																
													国庫支出金			県支出金			地方債			その他			一般財源																							
													20,108 千円												20,108																							
事業費積算内容													<ul style="list-style-type: none"> ●家庭的保育事業運営委託料 12,638千円(うち 新規1か所追加分 6,760千円) ●家庭的保育事業費補助金 7,470千円 																																			
平成25年度													4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月		
													第1四半期			第2四半期			第3四半期			第4四半期																										
事業実施スケジュール													新規家庭的保育運営開始																																			
予算書該当ページ													153 ページ																																			

これまでの主な取組と成果

事業年度	平成 12 年度 ~					
平成24年度 (当初予算)	取組内容	市内3か所（となりのおばちゃん、こっこママ、あいあい）で実施されている家庭的保育に対する運営費補助、及び高浜市社会福祉協議会が実施する家庭的保育（おひさま）に対する運営委託を行う。				
	事業費(経費)	財源内訳(単位:千円)				
	13,759 千円	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
						13,759
	主な経費	<ul style="list-style-type: none"> ●家庭的保育事業運営委託料 6,357千円 ●家庭的保育事業費補助金 7,402千円 				
平成23年度 (決算)	取組内容 と成果	市内3か所で実施されている家庭的保育に対する運営費補助を行った。 (となりのおばちゃん、こっこママ、あいあい) その結果、家庭的な雰囲気の中での預かりを重視した保育サービスが提供できた。				
	事業費(経費)	財源内訳(単位:千円)				
	6,808 千円	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
						6,808
	主な経費	●家庭的保育事業費補助金 6,808千円				

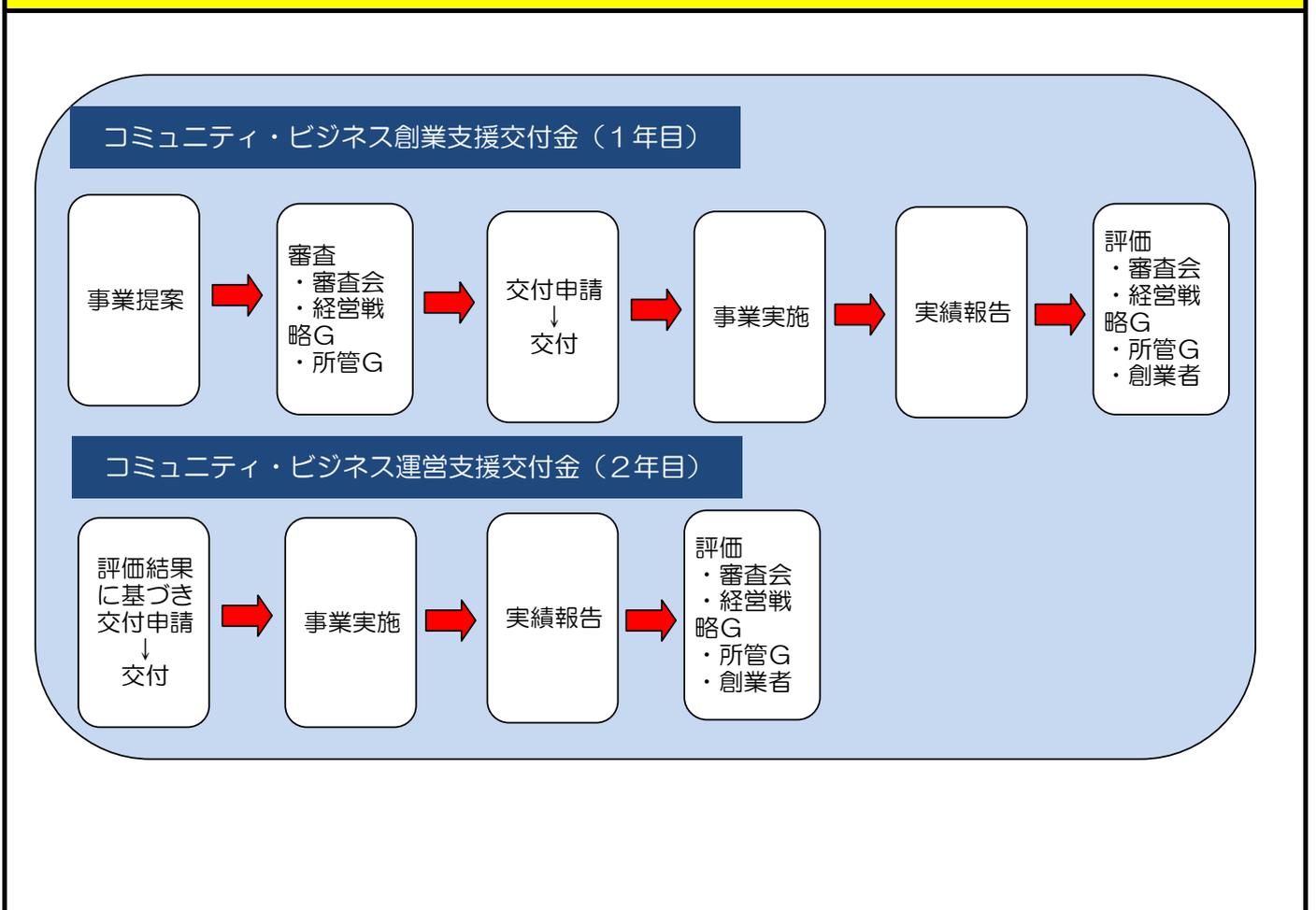
主要・新規事業等

事業名等													コミュニティ・ビジネス創出支援事業【継続】																							
担当グループ													企画部 経営戦略グループ																							
総合計画区分													基本目標 III 明日を生み出すエネルギー やる気 を活かせるまちをつくろう						個別目標 (8) 地域に根ざした新たなビジネスの芽を育みま す																	
予算区分													会計 一般会計		款 07 商工費		項 01 商工費		目 02 商工業振興費				事業名 06 コミュニティ・ビジネス創出支援事業													
アクションプラン													<input checked="" type="checkbox"/> 該当する <input type="checkbox"/> 該当しない																							
事業概要	事業の必要性・実施の背景													意欲を持った市民や団体が、地域の課題解決・活性化に向けた活動を興すことが望まれている。そこで市民が主体となって、地域の課題をビジネスの手法によって解決し、人と人とのつながりを重視し、関わる人が喜びや楽しさ、いきがい、やりがいを感じながら、地域を豊かにしていく新たなビジネスの芽を育てていく必要がある。																						
	目的 (何をどうするために)													市民が主体となって、地域の身近な課題を地域の人材、産業、伝統的な技術又は知識、既存施設その他の地域資源を生かしながら、ビジネス手法を用いて解決することにより、雇用や生きがいの創出につなげ、その活動の利益を還元するため。																						
	対象 (誰・何を対象に)													コミュニティ・ビジネス創業者、市民																						
	事業内容 (手段、手法など)													創業支援交付金制度及び運営支援交付金制度を新設し、起業家に対し、財政的な支援を行う。また、起業家に対し専門家によるソフト面でのフォローアップも行う。																						
目指す成果 (事業実施により期待される効果)													コミュニティ・ビジネス創出支援事業を実施することで、コミュニティ・ビジネスに対する理解や関心が高まり、地域課題の解決を図ろうとする市民が自発的に行動できるようになる。																							
平成25年度													事業費(経費)			財源内訳(単位:千円)																				
													国庫支出金			県支出金			地方債			その他			一般財源											
2,156 千円																						2,156														
事業費積算内容													<ul style="list-style-type: none"> ●コミュニティ・ビジネス創出支援事業審査委員会委員謝礼 58千円 ●コミュニティ・ビジネス創出支援業務委託料 998千円 ●コミュニティ・ビジネス創出支援事業交付金 1,000千円 ●消耗品費等 100千円 																							
平成25年度													4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月	
													第1四半期				第2四半期				第3四半期				第4四半期											
事業実施スケジュール													支援業務発注		コミュニティ・ビジネス創出支援業務委託																					
													コミュニティ・ビジネス創出支援事業交付金の交付																							
予算書該当ページ													183 ページ																							

これまでの主な取組と成果

事業年度	平成 23 年度 ～					
平成24年度 (当初予算)	取組内容	・コミュニティ・ビジネス創出セミナー(後期)を全4回開催すると共に、セミナー受講生に対して、創業に向けての具体的な個別相談を全10回開催した。また、セミナー受講生の事業計画を地域に発信する為のプレゼンテーション及びアイデアプラン発表会を平成25年1月20日に開催した。 ・コミュニティ・ビジネスの創業に対する支援策として、コミュニティ・ビジネス創出支援事業交付金の制度を創設した。				
	事業費(経費)	財源内訳(単位:千円)				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	3,544 千円					3,544
主な経費	<ul style="list-style-type: none"> ●賃金 2,002千円 ●コミュニティ・ビジネス創出・支援業務委託料 1,134千円 ●消耗品費等 408千円 					
平成23年度 (決算)	取組内容 と成果	地域の課題に対して地域自らビジネス手法を用いて継続的に解決させることができるコミュニティ・ビジネスの創出支援を図るため必要な経費を支出した。				
	事業費(経費)	財源内訳(単位:千円)				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	59 千円					59
主な経費	<ul style="list-style-type: none"> ●消耗品費等 59千円 					

資 料 等(位置図等)



主要・新規事業等

事業名等													通学路安全対策工事【新規】																							
担当グループ													都市政策部 都市整備グループ																							
総合計画区分													基本目標 III 明日を生み出すエネルギー やる気 を活かせるまちを創ろう						個別目標 (10)ハーモニーを奏でる快適な都市空間をつくり ます																	
予算区分													会計 一般会計		款 08 土木費		項 02 道路橋りょう費		目 01 生活道路新設改良費				事業名 01 道水路維持管理事業													
アクションプラン													<input type="checkbox"/> 該当する <input checked="" type="checkbox"/> 該当しない																							
事業概要	事業の必要性・実施の背景													平成24年4月以降、登下校中の児童等の列に自動車が入り込み、死傷者が多数発生する痛ましい事故が相次いだことを踏まえ、国土交通省、文部科学省、警察庁が連携した緊急合同点検の結果に対する安全対策を図る必要がある。																						
	目的 (何をどうするために)													緊急合同点検で指定した通学路において、通学児童・生徒の安全対策を図るため。																						
	対象 (誰・何を対象に)													小・中学生																						
	事業内容 (手段、手法など)													指定路線において、カラー舗装及び車道分離標(ポストコーン)並びに区画線の引き直しを実施する。																						
目指す成果 (事業実施により期待される効果)													通学路における通学児童・生徒の安全対策が図られる。																							
平成25年度													事業費(経費)				財源内訳(単位:千円)																			
													国庫支出金		県支出金		地方債	その他		一般財源																
													10,040 千円				2,750					7,290														
事業費積算内容													●通学路安全対策工事費 10,040千円																							
平成25年度													4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月	
													第1四半期				第2四半期				第3四半期				第4四半期											
事業実施スケジュール															★入札 ★契約																					
													通学路安全対策工事 →																							
予算書該当ページ													187 ページ																							

これまでの主な取組と成果

事業年度	平成 23 年度 ~					
平成24年度 (当初予算)	取組内容	道路拡幅用地の購入及び物件移転補償を行った。				
	事業費(経費)	財源内訳(単位:千円)				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	210,000 千円	79,750		85,000		45,250
主な経費	<ul style="list-style-type: none"> ●土地購入費 30,000千円 ●物件移転補償費 180,000千円 					
平成23年度 (決算)	取組内容 と成果	道路用地を確定するため、地権者への説明を行い、測量を始めた。1件については、用地取得。道路計画線にかかり、影響のある建物、移転等の補償となる建物について調査を始めた。				
	事業費(経費)	財源内訳(単位:千円)				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	23,374 千円	6,160	4,500			12,714
主な経費	<ul style="list-style-type: none"> ●道路調査測量設計業務委託 20,171千円 ●道路改良工事 2,962千円 ●土地購入費 241千円 					

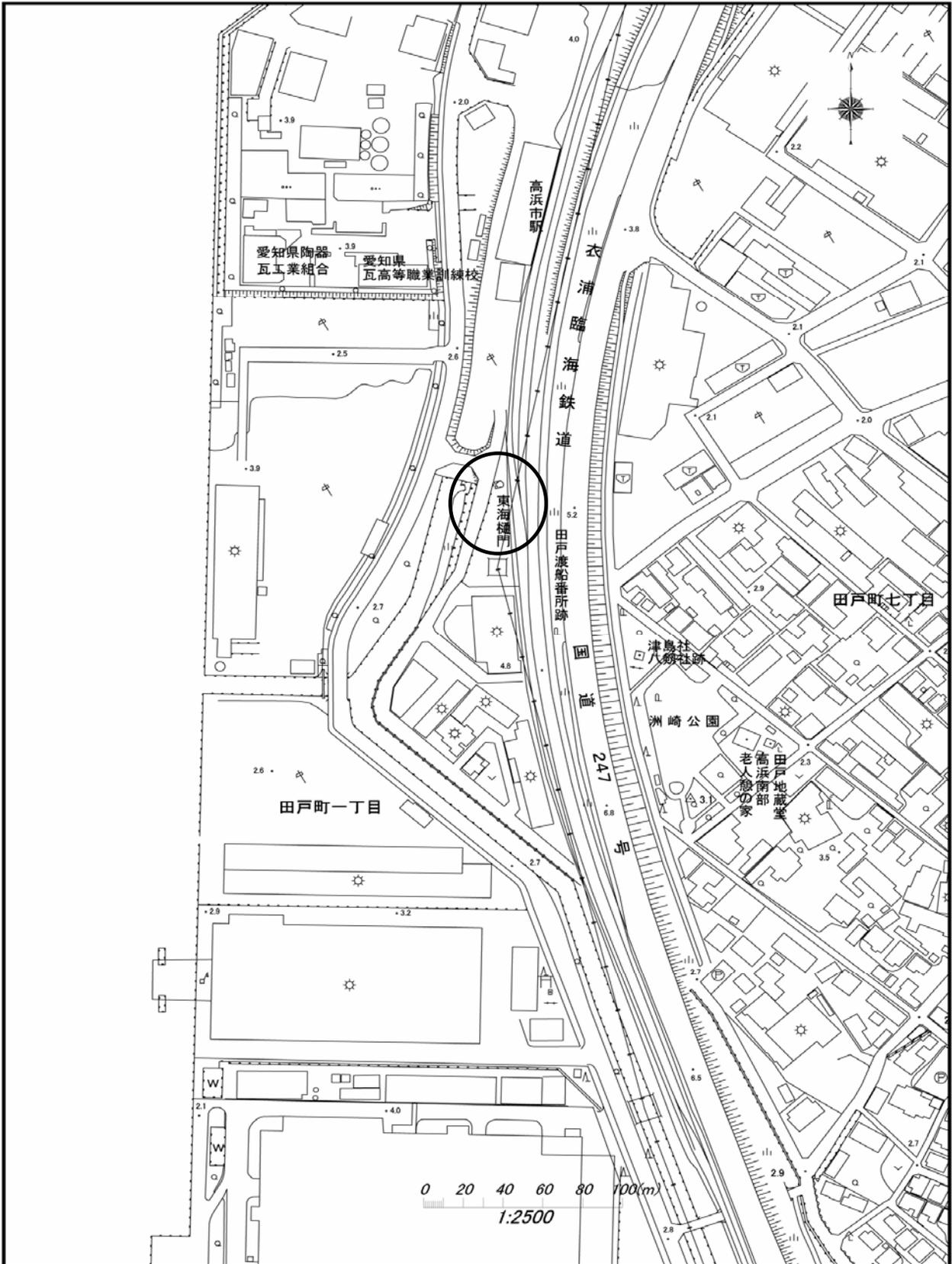
資料等(位置図等)



主要・新規事業等

事業名等													樋門取替工事【新規】																																			
担当グループ													都市政策部 都市整備グループ																																			
総合計画区分													基本目標 III 明日を生み出すエネルギー やる気 を活かせるまちを創ろう						個別目標 (12) 安心・安全が実感できる基盤づくりを進めま す																													
予算区分													会計 一般会計		款 08 土木費		項 03 河川費		目 01 河川費																													
アクションプラン													<input type="checkbox"/> 該当する <input checked="" type="checkbox"/> 該当しない																																			
事業概要	事業の必要性・実施の背景													東日本大震災において、高潮・津波等による甚大な被害が発生したことを踏まえ、治水対策施設の機能保全に対応する必要がある。																																		
	目的 (何をどうするために)													治水対策施設の老朽化による機能障害対策として、スライドゲートの取替を実施し、高潮・津波の発生時に対応するため。																																		
	対象 (誰・何を対象に)													東海樋門																																		
	事業内容 (手段、手法など)													平成25年10月までに東海樋門のスライドゲートの取替を行う。																																		
目指す成果 (事業実施により期待される効果)													老朽化した樋門のスライドゲートの取替を実施することで、高潮・津波対策への機能回復が図られ、地域の安全安心が担保される。																																			
平成25年度													事業費(経費)			財源内訳(単位:千円)																																
													国庫支出金			県支出金			地方債			その他			一般財源																							
11,865 千円																			11,865																													
事業費積算内容													●樋門取替工事費 11,865千円																																			
平成25年度													4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月		
													第1四半期						第2四半期						第3四半期						第4四半期																	
事業実施スケジュール													<div style="text-align: center;"> <p>★入札</p> <p>★契約</p> <p>樋門取替工事 →</p> </div>																																			
予算書該当ページ													189 ページ																																			

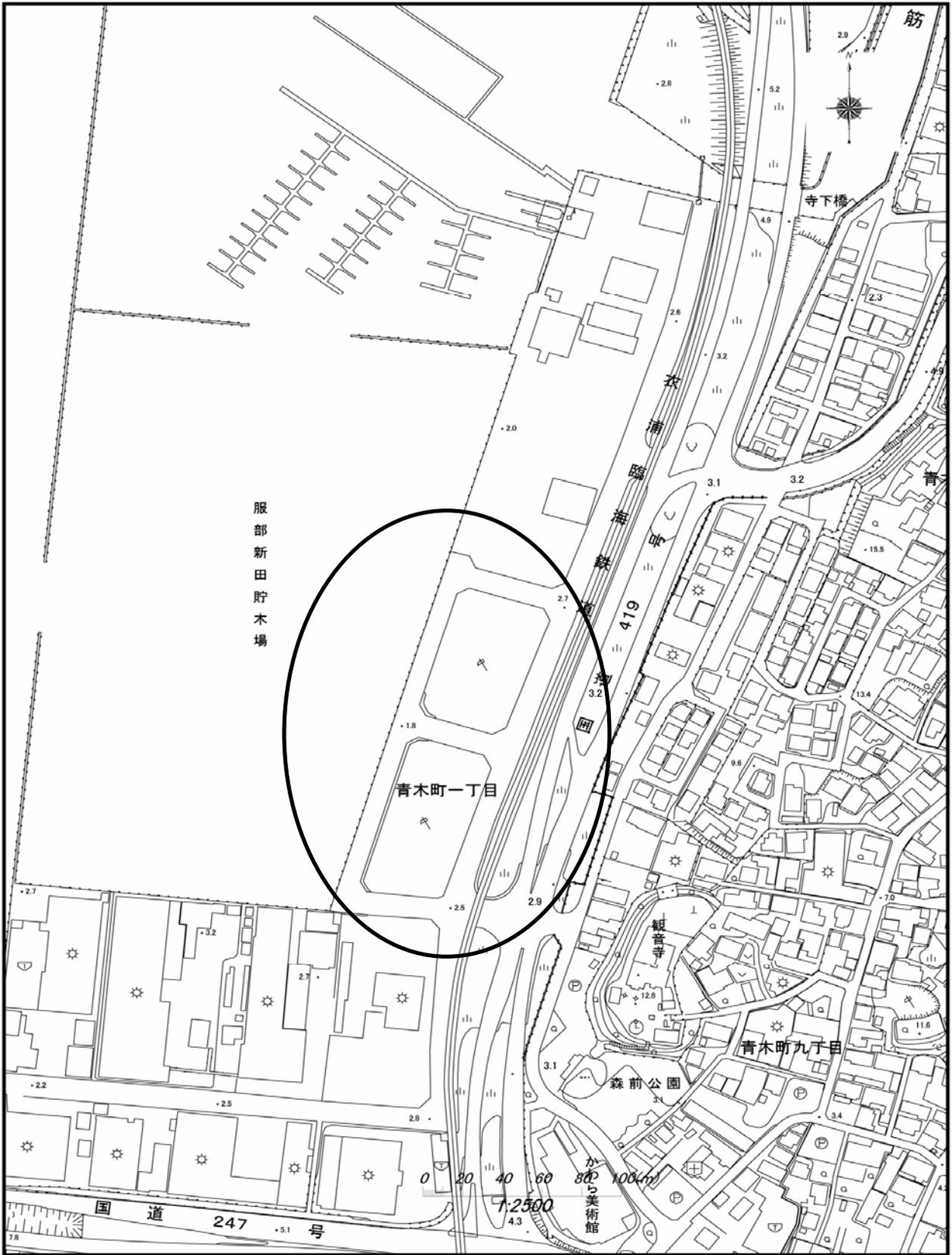
資料等(位置図等)



主要・新規事業等

事業名等													高浜ベイサイド計画(高浜貯木場跡地)調査委託【新規】																							
担当グループ													都市政策部 都市整備グループ																							
総合計画区分													基本 目標						Ⅲ 明日を生み出すエネルギー やる気を 活かせるまちを創ろう						個別 目標						(11) 自然豊かな魅力あふれる憩いの場を守り、育 てます					
予算区分													会計			一般会計			款			08 土木費			項			04 港湾費			目			01 港湾費		
アクションプラン													■該当する □該当しない																							
事業概要	事業の必要性・実施の背景													地域資源の活用や地域の魅力向上、自然と調和した都市環境整備を行うため、先に策定した高浜ベイサイド計画について、具現化に向けた検討を行い、衣浦湾とその周辺の自然環境の保全と海浜レクリエーションの場としての活用を図る必要がある。																						
	目的 (何をどうするために)													高浜ベイサイドエリア(イベント・マリンレクリエーションゾーン)の事業の推進を図るため。																						
	対象 (誰・何を対象に)													高浜ベイサイドエリア(イベント・マリンレクリエーションゾーン)																						
	事業内容 (手段、手法など)													高浜ベイサイド計画におけるイベント・マリンレクリエーションゾーンの事業推進に関する調査検討を実施する。 (ベイサイド計画の全体構想で示されている、シーサイドモール・フリーマーケット・イベント等の機能の具現化を検討)																						
目指す成果 (事業実施により期待される効果)													衣浦港(海)とかかわら美術館、鬼のみち等を地域資源として、一体的に活用することにより、レクリエーションゾーンとして賑わいを醸成し、交流活動及び地域経済の活性化が図られる。																							
平成25年度													事業費(経費)						財源内訳(単位:千円)																	
													国庫支出金		県支出金		地方債		その他		一般財源															
5,000 千円																	5,000																			
事業費積算内容													●高浜ベイサイド計画(高浜貯木場跡地)調査委託料 5,000千円																							
平成25年度													4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月	
													第1四半期				第2四半期				第3四半期				第4四半期											
事業実施スケジュール																	★入札 ★契約						調査委託								→					
予算書該当ページ													191 ページ																							

資料等(位置図等)



主要・新規事業等

事業名等													中高校生の居場所事業費補助【継続】													
担当グループ													こども未来部 文化スポーツグループ													
総合計画区分													基本目標 II 学び合い 力を合わせて 豊かな未来を育もう						個別目標 (4) 学びを通して人づくりを進め、夢と希望につなげます							
予算区分													会計 一般会計		款 10 教育費		項 05 社会教育費		目 04 青少年育成・活動支援費							
アクションプラン													■該当する □該当しない													
事業概要	事業の必要性・実施の背景													中高校生の世代の若者が、まちづくりに積極的に参加できていないという現状を打破することが求められることから、中高校生の高浜における居場所の創出が必要である。												
	目的 (何をどうするために)													中高校生が自分たちで高浜における居場所を見つけていくとともに、まちへの愛着心を育て、中高校生もまちづくりの重要なメンバーの一員であるということを感じさせる。また、様々な経験・体験・出会いを通して、将来の夢を見つけ出すきっかけづくりを行い、社会における居場所を見つけてもらうため。												
	対象 (誰・何を対象に)													市民(中高校生)												
	事業内容 (手段、手法など)													映画「タカハマ物語」の制作を通じて、スタッフの中核を担った中高校生は、自ら考え、自ら行動する必要性を学ぶとともに、力を合わせて取り組むことで素晴らしい成果を生み出すことができることを学んだ。こうした学びを継続させ、併せて中高校生たちが共通の目標(多くの中高校生を巻き込んだ事業の実施)に向かって話し合いを行い、作業を進めるための居場所づくりの支援を行う活動に対して補助金を交付する。												
目指す成果 (事業実施により期待される効果)													<ul style="list-style-type: none"> 中高校生世代の若者のまちへの愛着心向上 中高校生のまちづくりへの関心向上 まちにおける若者の居場所創出 将来のまちを担う若者たちの育成 													
平成25年度													事業費(経費)			財源内訳(単位:千円)										
													1,000 千円			国庫支出金		県支出金		地方債		その他		一般財源		
																						1,000				
事業費積算内容													●中高校生の居場所事業費補助金 1,000千円													
平成25年度													4月 5月 6月			7月 8月 9月			10月 11月 12月			1月 2月 3月				
													第1四半期			第2四半期			第3四半期			第4四半期				
事業実施スケジュール													◇ 補助金交付申請手続開始													
													◇ 補助金交付申請受付・審査													
													◇ 補助金交付決定・通知													
													◇ 補助金支払手続(前金払い)													
													←			随時事業進捗状況の確認						補助事業実績報告手続開始 ◇				
																						補助事業実績報告受付・審査 ◇				
予算書該当ページ													225 ページ													

これまでの主な取組と成果

事業年度		平成 17 年度 ~				
平成24年度 (当初予算)	取組内容	・映画「タカハマ物語」の制作において、中高校生スタッフ(バコハスタッフ)が中心となって活躍し、5月に撮影終了・クランクアップを迎えることができた。 ・上映活動においても中高校生スタッフ(バコハスタッフ)が中枢を担い、準備から入場整理まで、自らの考えで的確な対応を行った。				
	事業費(経費)	財源内訳(単位:千円)				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	3,508 千円					3,508
主な経費	<ul style="list-style-type: none"> ●ドラマ制作費補助金 3,400千円 ●中高校生の居場所事業委託料 50千円 ●公共施設会場使用料 58千円 					
平成23年度 (決算)	取組内容 と成果	・映画「タカハマ物語」の制作が始まり、映画製作の実行委員会の一翼を担い、大人の委員と同席して、映画製作のスケジュール確認、撮影準備などについて議論を重ねた。 ・毎週実施される撮影にスタッフとして参画し、撮影スタッフ等の指導を受けながら、次は何をすべきかを自分たちで話し合うようになっていった。				
	事業費(経費)	財源内訳(単位:千円)				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	5,174 千円		4,999			175
主な経費	<ul style="list-style-type: none"> ●中高校生の居場所事業委託料 118千円 ●公共施設会場使用料 57千円 ●ドラマ制作業務委託料 4,999千円 					